

滋賀ブロック協議会 2023 年度

JC 運動連携委員会 基本方針

委員長 青木 克実

私たちは時代の先導者として地域の発展を目指し、個々の力と組織の力を遺憾なく発揮し JC 運動を行ってまいりました。さらなる地域の活性化に向けて、県民との連携力を今まで以上に高め滋賀をより豊かに発展させる新たな価値を創出する地盤をつくるとともに、県民一人ひとりが今後も安心して暮らせる地域の実現に向け、県内広域に運動する組織としての利点を活かした防災の連携意識を有するコミュニティづくりが必要です。

まずは、県内 10LOM メンバーと様々な年代、立場の人々が世代による価値観の違いから気づきを得るために、活発な意見交換の場を設けることで、多様な思想に触れ視野を広げます。そして、新たな発見を新事業の創出につなげるために、互いの知識や気づきを共有し他世代によるビジネスプランを共創することで、新たなビジネスの可能性を見出します。さらに、滋賀ブロック協議会が新たな価値をもつ企業を輩出する礎を築くために、創造したビジネスプランの中から突出したプランに対して行政や各種団体から評価を得ることで、独自の価値の推進へとつなげます。また、災害発生時に二次災害を軽減させるために、県内 10LOM がこれまでに築き上げてきた地域コミュニティと連携できる体制を構築することで、県民の安心できる暮らしに寄与します。そして、県民が有事の際に共助の力を発揮するために、地域コミュニティ活用の知見を広めることで、防災だけに捉われない関係性を育みます。さらに、県民自身が優先して守るべきものを明確に把握するために、日常を見つめ直す機会を創出することで、日々の暮らしの中でも防災意識を醸成します。

私たちと県民が連携した運動は、持続的に滋賀を発展させようとする人々をつなぎさらなる経済的な豊かさをもたらす土壌をつくるとともに、地域コミュニティを中心に住み慣れた地域で安心して暮らしを続けられる、「SHIGA⇄JAPAN 顕在力を受信・潜在力を発信できる滋賀の創出」を実現します。

<事業計画>

1. 新たな価値をデザインする企業を創出する事業の企画・実施
2. 有事に備えた災害ネットワークの強化に関する事業の実施